

うつのみや



社協だより

平成29年7月1日発行

編集発行 **165号**

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会

たまには屋外でお花見会食

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会 を実施しています



【陽東地区 上籠谷の藤の花見】



【城東地区 石井の桜堤】



【西原地区 古河桃まつり】

地区社協では、ひとり暮らし高齢者の方々を対象に「ふれあい会食会」を実施しています。普段は地域コミュニティセンターや地区市民センターなどで実施していますが、近隣まで花見会食会に出かける地区もあります。

屋外での食事は、風も心地よく開放的で、皆さんの笑顔と楽しいおしゃべりにも花が咲きました。

“うつのみや社協だより”は、



です。よろしくお願い申し上げます。

北組公民館はつらつ（平石地区）

～井戸端会議も大盛り上がり～

★ サロン情報

開催日時：毎月第3水曜日 午前10時～正午
毎月第4木曜日 午後1時～午後3時（カラオケ）

場 所：北組公民館

代 表 者：平出清一さん（公民館長）

立ち上げ動機：もともと輪投げやペタンクを行っていたメンバーが、はつらつ教室を経てサロンを立ち上げ活動を続けています。

★ 実施内容

- ・ 血圧測定、脳トレやゲーム
- ・ お茶飲みとおしゃべり、カラオケ など



▲カラオケで大盛り上がり

新メニューを追加!! 楽しく歌ってさらに元気に♪

新たにカラオケをメニューに加え、開催回数を増やしました。平石地区で唯一のサロンとして、がんばる姿が他の自治会の方への励みになるよう、参加者一同楽しんで活動しています。



▲白沢の桜堤でお花見

サロンのアピールポイント

年に2回程度、近隣にお花見に出かけています。今年の4月は、白沢にある桜堤まで出向き、ウォーキングをした後でお弁当を食べ、合唱や脳トレを楽しみました。

サロン活動中は、真剣に脳トレや運動、ゲームに取り組んでいますが、一息ついた後のおしゃべり（井戸端会議）も毎回大いに盛り上がり、サロンに通う楽しみになっています。

福祉協力員

緑が丘地区 福田恭明さん・石塚明子さん・河又郁子さん（緑2丁目自治会）

活動年数：福田恭明さん/6年目 石塚明子さん/3年目
河又郁子さん/2年目

活動内容：福祉部における見守り活動、ふれあい・いきいきサロンの運営、研修会の企画・実施、自治会における行事や地区敬老会の補助等



（石塚さん・福田さん・片嶋さん（民生委員）・河又さん）

自治会福祉部による「オール2丁目」のまちづくり

昭和39年、宅地の分譲等を機に発展してきた緑2丁目。将来、高齢化が進んでしまうことを危惧し、自治会で福祉部を発足させて15年が経ち、福祉協力員として活動に協力しています。

当時の先輩方が、役員会や全体会で話し合いを重ね、また、勉強会や研修会を開催し、地域における見守り体制が構築されました。

“住んで良かった緑町”を目指し、高齢者宅への定期的訪問や植木伐採支援、ふれあい・いきいきサロンの開催など、自治会、民生委員、福祉協力員が一丸となって取り組んでいます。

パトロールで町内の新たな発見もあり、活動が楽しみ

町内のパトロールを民生委員さんと一緒に実施しています。歩いて回ると、今まで気が付かなかったことや季節の移り変わりを感じることができます。高齢者世帯宅の確認や、公園・道路などに危険なところはないかチェックし、「パトロール日誌」に記入しています。その内容は福祉部の定例会議で話し合います。

町内に活動が浸透し、高齢者の方からパトロールを依頼されるようにもなりました。気の合う仲間との活動なので、毎回、パトロールの時間がとても楽しみになっています。



▲パトロール活動は民生委員さんと定期的実施



▲緑2丁目「福祉部」の皆さん

月1度の定例会議を開催

紹介コーナー

生協団地ふれあいサロン(雀宮地区)

～空いた時間にちょっと立ち寄れる気軽さが心地よい～

★ サロン情報

開催日時：毎月第3火曜日 午前10時～午後4時

場 所：雀宮生協団地集会所

代 表 者：関原達郎さん(老人クラブ会長)

立ち上げ動機：平成27年に集会所が新しくなり、地元の皆さんにさらに有効活用していただくために、誰もが立ち寄れるサロンを始めました。

★ 実施内容

- ・映画鑑賞
- ・囲碁・将棋、オセロ
- ・健康マージャン
- ・お茶飲みとおしゃべり など

近所の人がサロンにいる、賑わうお茶の間

老人クラブや福祉協力員が運営スタッフとなり、昼間の長い時間、サロンとして集会所を開放しています。

メニューも時間を固定せずに実施しているため、買い物途中などにも気軽に立ち寄ることができ、ご近所さんが集まり話題の絶えないお茶の間のよう場所になりました。



▲ちょっと工夫して様々なメニューを同時進行



▲健康マージャンは男性に人気

サロンのアピールポイント

空いた時間に気軽に立ち寄れるよう、いつ来ても、やりたいことがすぐに見えるよう準備をしています。映画は字幕付きのものを上映し、健康マージャンや囲碁・将棋、ダーツ、お茶飲みなども同時進行で開催しています。特に、健康マージャンや囲碁・将棋を目的に、男性がたくさんいらっしゃいます。

これからは、手話や体操のミニ講座なども取り入れようと考えています。

紹介コーナー

河内地区 齋藤精一さん・古谷秀夫さん・阿美晴彦さん

(駅前二区自治会)

(申内自治会)

(天王原自治会)

活動年数：齋藤精一さん/10年目 古谷秀夫さん/8年目
阿美晴彦さん/5年目

活動内容：ふれあい会食会、かわち福祉まつり、敬老会、各種募金活動、ほのぼの(河内地区社協広報誌)発行、ふれあい・いきいきサロン、安心・安全情報キットの配付、男の料理教室、いきいき訪問事業等の実施及び支援



〈齋藤さん 古谷さん 阿美さん〉

誰もが安心して暮らすことができる“かわち”をつくります!

齋藤さんは、「高齢者にやさしいまちづくり」をモットーに、まちづくり推進協議会との重要な橋渡し役として、福祉のまちづくりを進めています。古谷さんは、「いくつになっても皆が健康でいられるように」をモットーに、地区社協と福祉協力員連絡会の調整役として、各種地域福祉事業の円滑な推進に努めています。阿美さんは、「裏方に徹した活動」をモットーに、縁の下の力持ちとして、地区社協や福祉協力員連絡会の事務局を担っています。



▲「ふれあい会食会」の様子



▲「福祉のまちづくり部会」の様子

「福祉のまちづくり計画」を策定中

河内地区社協が行う「ふれあい会食会」や「かわち福祉まつり」などの主な地域福祉事業は、福祉協力員が中心となり活動しています。

現在、河内地区社協では「福祉のまちづくり部会」を発足し、「福祉のまちづくり計画」を策定しています。

齋藤さん、古谷さん、阿美さんの3名も参加しており、誰もが安心して暮らすことができる“かわち”を目指して奮闘しています。

平成
28
年度宇都宮市社会福祉協議会
事業報告

平成29年5月19日開催の理事会、6月5日開催の評議員会において、平成28年度の事業及び収支決算について承認されましたので、ご報告いたします。

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進
 - ア. 赤い羽根共同募金運動
 - イ. 歳末たすけあい募金運動
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
 - ア. 自主事業「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりを目指して～障害者差別解消法を考える～」の開催



- イ. 心のバリアフリーハンドブック・リーフレット（入門編）の作成

- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実
(参加協力団体82団体)

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の推進
 - ア. 収集ボランティア活動の支援
 - イ. ボランティア体験プログラムの実施
(全25回/延216人)
 - ウ. 各種ボランティア養成講座の実施
(7講座/延338人)
- ・ボランティア活動へのきっかけづくりや、災害時におけるボランティアの養成講座などを実施しました。



- ②福祉共育講座の充実
 - ア. 出前福祉共育講座の実施
(延114回/延4,274人)
 - イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催
・「オモイツタエル3.11～ともしびプロジェクトin うつのみや2017～」を開催しました。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実
(325クラブ/会員18,506人)
 - ・各地域において介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブの支援及び市老人クラブ連合会の組織強化を図りました。
- ②地区福祉まつり支援の充実
- ③男性高齢者調理講習会事業の充実
 - ・65歳以上の男性を対象に、自立した生活が送れるよう調理法を学ぶとともに、仲間作りや交流を図りました。



(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター機能の強化
(開設回数 延358回/相談件数 延520件)
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実
 - ア. 広報紙「うつのみや社協だより」の発行（年4回発行）
 - イ. ホームページの充実
 - ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

(3) 組織体制の強化

- ①会務の運営
- ②苦情解決体制

- ・各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、問題解決のための第三者委員を設置し、適切に対応しました。

(4) 様々なニーズに応じたサービスの提供

- ①法人後見事業の実施
(法人後見受任8件/相談件数 延83件)
- ②介護保険事業等の充実
 - ア. 訪問介護事業の運営
 - イ. 通所介護事業の運営
 - ウ. 居宅介護支援事業の運営
 - エ. 障がい福祉サービスの運営
- ③指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の運営
- ④福祉車両貸出サービス事業の推進
(貸出件数 延92件)
 - ・公共交通機関の利用が困難な方で、通院等のために、車いすのまま乗降できる福祉車両を貸出しました。
- ⑤車いす等貸出サービス事業の推進
(貸出件数 延440件)
- ⑥福祉理美容出張費補助サービス事業の推進
- ⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
(利用者 延4,685人/配達本数 延55,189本)
 - ・おおむね70歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ、乳酸飲料を配り、安否確認などを行いました。
- ⑧福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑨社会福祉資金貸付事業
- ⑩各種事業に対する共催・後援



3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
 - ア. 地区社協会長研修会の開催
- ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進
(37地区/231か所)
- ④ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催
 - ・研修会と情報交換の実施
- ⑤安心・安全情報キット配付事業の推進
(累計38地区/延18,015本)
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等との連携・協働の推進
- ⑦ボランティアセンター機能の充実
 - ア. ボランティア相談・登録・調整の充実
 - ・各種相談・問合せ (延11,632件)
 - ・ボランティア活動調整件数 (延650件)
 - ・ボランティア登録数 (330団体/10,961人) (個人/54人)
 - イ. ボランティア団体への活動支援の推進
- ⑧災害ボランティア活動等の実施
- ⑨ファミリーケアサービス事業の充実



- ⑩ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進
 - ・おおむね65歳以上のひとり暮らしの方を対象に、仲間づくりを目的とした会食会を実施するほか、事業に携わる地域の方々を対象に、食中毒・食品衛生講習会を実施しました。

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定の促進
- ②福祉協力員制度の推進 (39地区/2,424人)
 - ・福祉協力員表彰式の開催
 - ・ブロック別福祉協力員研修会の開催
- ③社会福祉協議会会員制度の充実
(会員106,817件/会費35,373,645円)
- ④ぎんなん基金事業の充実
(寄附105件/3,651,100円)
- ⑤善意銀行事業の促進
 - ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施
- ⑥敬老会開催の支援



4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センターの管理・経営
(5施設/年間利用者延252,201人)
 - ・ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘、すこやか荘、上河内老人福祉センター
- ②地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)
 - ・雀の宮作業所、若草作業所 (利用登録者31人)
 - ・障がい者福祉センター (利用登録者 延128人)
- ③総合福祉センターの管理・経営 (2施設)
 - ・宇都宮市総合福祉センター
(会議室利用者 延72,971人)
 - ・河内総合福祉センター
(会議室利用者 延13,484人・大広間利用者 延26,447人)



(2) 市からの受託事業等の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
(支援対象者 延1,092人・相談件数 延2,941件)
- ②地域包括支援センター事業 (相談者数 延800人)
 - ア. 地域包括支援センター御本丸
 - イ. 上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業 (利用者 延4,861人)
 - ・あっとほ一む・うだい、あっとほ一む・すすめ、あっとほ一む・かわち、河内地域活動支援事業所
- ④障がい者福祉バス事業
(利用者団体 延193団体/利用者 延4,155人)



- ⑤手話・点訳・音訳奉仕員養成講座
(3講座/受講者 延1,485人)
- ⑥要約筆記者派遣事業
(派遣件数77件/活動者 延125人)
- ⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業
(認定団体数488団体/対象者数 延13,829人)
 - ・高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援するポイント事業を実施しました。
- ⑧生活困窮者自立相談支援事業
(相談件数 延846件・支援件数 延4,246件)
 - ・最低限度の生活を維持することが難しい方に、自立に向けた相談支援を行いました。
- ⑨援護事業（行旅人への旅費貸付）(貸付件数102件)



(3) 県社協からの受託事業等の実施

- ①権利擁護センター「あすてらす」事業
(利用者104人/相談件数 延2,724件)
 - ・認知症高齢者や障がい者など、判断能力が十分でない方に対し、相談や金銭管理等のサービスを提供しました。
- ②生活福祉資金等貸付事業
(貸付件数36件/相談件数 延1,325件)

平成
28
年度

宇都宮市社会福祉協議会

決算報告

事業別決算額 (支出済額)

(1) 社会福祉事業

①法人運営	234,176,430円
②福祉活動推進事業	37,132,113円
③ボランティアセンター事業	24,040,853円
④総合相談センター事業	4,020,042円
⑤権利擁護・成年後見センター事業	9,920,242円
⑥がんなん基金事業	45,357,242円
⑦善意銀行事業	695,574円
⑧共同募金配分金事業	38,569,426円
⑨生活福祉資金貸付事業	8,337,277円
⑩社会福祉資金貸付事業	2,466円
⑪老人福祉センター	209,829,546円
⑫地域活動支援センター	44,324,771円
⑬障がい者福祉センター	37,708,000円
⑭宇都宮市総合福祉センター	75,083,000円
⑮河内総合福祉センター	55,729,000円
⑯訪問介護事業	54,849,135円
⑰通所介護事業	26,466,791円
⑱居宅介護支援事業	13,926,334円
計	920,168,242円

(2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸	31,548,395円
②上河内地域包括支援センター	26,870,035円
③障がい者福祉バス事業	9,220,406円
④障がい者生活支援事業	16,950,944円
⑤日中一時支援事業	21,326,985円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	25,695,506円
⑦ファミリーケアサービス事業	3,486,386円
計	135,098,657円

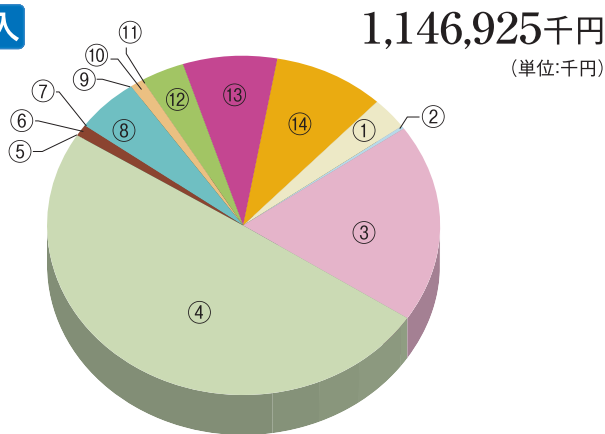
総合計

1,055,266,899円



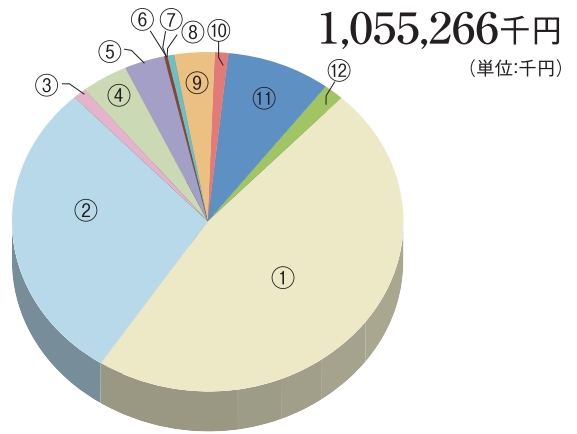
収支決算額

収入



①会費収入	35,451	⑨障害福祉サービス等事業収入	11,072
②寄附金収入	4,099	⑩受取利息配当金収入	2,168
③経常経費補助金収入	218,018	⑪その他の収入	320
④受託金収入	570,104	⑫基金積立資産取崩収入	39,225
⑤貸付事業収入	17	⑬事業・拠点・サービス区分間	88,914
⑥事業収入	10,240	線入金収入	
⑦負担金収入	48	⑭前年度繰越金	104,464
⑧介護保険事業収入	62,785		

支出



①人件費支出	500,778	⑧固定資産取得支出	5,477
②事業費支出	303,570	⑨基金積立資産支出	36,045
③事務費支出	12,923	⑩積立資産支出	12,700
④共同募金配分金事業費支出	38,919	⑪事業・拠点・サービス	88,914
⑤助成金支出	35,512	区分間繰入金支出	
⑥負担金支出	3,233	⑫その他の活動支出	17,092
⑦返還金支出	103		

次年度繰越 91,659千円

ボラセン
情報コーナー

ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

出前福祉共育講座

ボランティアセンターでは、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力のもと、「学校」「地域」「企業」などすべての市民を対象に出前福祉共育講座を実施しています。

この講座は、障がいのある方の「できないこと、困っていること」に目を向けるのではなく、実際に福祉の体験をしながら「障がいがあっても、自分でできることがたくさんある」「支援が必要な時と、そうでない時がある」といったことに参加者自身が気づき、理解していただくことを目的に行っています。

福祉について考え、理解を深める機会として、ぜひご利用ください。

アイマスク体験



点字体験



手話体験



車いす介助体験

講座メニュー

「視覚」障がいを学ぼう

- ・アイマスク体験
- ・点字体験
- ・盲導犬体験

「聴覚」障がいを学ぼう

- ・手話体験

「身体」障がいを学ぼう

- ・車いす介助体験

ボランティアってどんな活動？

- ・ボランティア講話

第12回

ボランティアセンター登録団体紹介コーナー

ボランティアセンターでは、様々な分野で活躍しているボランティア団体が登録しています。今回は、「国際交流・国際協力」を行っている団体をご紹介します。

- ① 紙芝居ねんりん29の会
- ② 非営利活動団体 栃木タイムズ
- ③ 宇都宮SGGクラブ
- ④ 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク
- ⑤ まちなか・せかいネット とちぎ海外協力NGOセンター
- ⑥ シャプラニールとちぎ
架け橋の会



国際交流・国際協力に関するボランティア団体では、交流イベントの参加やボランティアガイド、外国語による広報誌やパンフレットの作成などを通じて、外国の方々への支援を行っています。

※掲載は登録順です。(H29.4.1現在)

【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階）電話 636-1285 FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。

宇都宮市社協ボラセン

検索

日本赤十字社「会費」にご協力お願いします 赤十字活動は皆さまに支えられています！

日本赤十字社が実施している国際救援活動や国内の災害救護活動、また身近に行われている救急法などの講習普及事業、学校などで行う青少年赤十字活動(JRC)などの様々な活動は、財政面で支援する「協力会員/会員」の皆さまからの「会費」と、広く皆さまからお寄せいただく「寄附金」を合わせた「活動資金(社資)」によって支えられています。

赤十字の趣旨・事業活動をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いします。

なお、この「活動資金(社資)」募集は強制ではございません。

日本赤十字社の活動に賛同し、年額500円以上協力してくださる方を「協力会員」といいます。年額2,000円以上を納め支援してくださる方を「会員」といいます。



※平成28年度は、
44,455,854円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

日本赤十字社 栃木県支部の活動紹介



防災訓練で救護活動を行う日赤救護班 地域赤十字奉仕団による炊出し活動訓練

詳しくは、
日本赤十字社
ホームページを
ご覧ください。



日本赤十字社
<http://www.jrc.or.jp>
日本赤十字社栃木県支部
<http://www.jrc-tochigi.org/index.html>

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。

ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



平成29年3月下旬～5月31日

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
3月	北宇都宮駐屯地曹友会	30,000
	宇都宮RCフライングクラブ	17,000
4月	老人福祉センターすこやか荘 お客様一同	13,687
	関東西濃運輸(株)労働組合 宇都宮支部	150,000
5月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,763
	(有)匠堂 栃木美術倶楽部	10,000
5月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	16,149
	ヨークベニマル御幸ヶ原店 お客様一同	21,089
5月	絆の会歌謡愛好会	20,000
	清島 武雄	50,000
	清島 康伸	50,000